

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公開番号】特開 2015-127099 (P2015-127099A)

【公開日】平成 27 年 7 月 9 日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2015-044

【出願番号】特願 2013-272477 (P2013-272477)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 20 日 (2016.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体に記録を行う記録ヘッドを備えるとともに第 1 の方向及びその反対方向である第 2 の方向に移動可能なキャリッジと、
前記キャリッジを支持する支持手段と、
媒体の搬送経路において前記記録ヘッドに対し上流側に設けられた第 1 ローラーを有し、
媒体を搬送する搬送手段と、
前記搬送手段に対して駆動源の動力を伝達する動力伝達機構と、
前記第 1 ローラーの回転を検出する回転検出手段と、を備え、
前記第 2 の方向の端部に移動した状態における前記キャリッジの下に、前記動力伝達機構の少なくとも一部と、前記回転検出手段を構成するロータリースケールの少なくとも一部と、が位置する、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の記録装置において、前記キャリッジは、前記第 2 の方向に突出する突出部を備え、移動方向において前記支持手段によって支持される被支持領域の中心に対し前記移動方向で非対称の形状を成し、
前記第 2 の方向の端部に移動した状態における前記キャリッジの、前記突出部の下に、前記動力伝達機構の少なくとも一部が位置する、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の記録装置において、前記キャリッジはインクを収容するインクカートリッジを着脱可能に備え、
前記インクカートリッジは、前記キャリッジにおいて前記突出部を含む空間を占有する、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の記録装置において、前記搬送手段は、前記記録ヘッドに対し下流側に設けられた第 2 ローラーを備え、
前記動力伝達機構は、前記第 1 ローラーの軸端部に設けられた第 1 ローラー駆動歯車を

含み、当該第 1 ローラー駆動歯車を介して前記第 2 ローラーへ動力を伝達し、

前記ロータリースケールが、前記第 1 ローラー駆動歯車に対し前記第 1 の方向の側に設けられている、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の記録装置において、前記ロータリースケールの径は、前記第 1 ローラー駆動歯車の径より小さい、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 に記載の記録装置において、前記第 1 ローラーを支持するフレームを備え、

前記フレームには、前記ロータリースケールの外形に沿うとともに前記ロータリースケールの径より大きい径の円弧形状を成す凸部が形成されている、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の記録装置において、前記キャリッジには、当該キャリッジが前記第 2 の方向の端部に移動した際に前記凸部を避ける凹部が形成されている、

ことを特徴とする記録装置。